

平成 30 年度  
上野法律ビジネス専門学校  
学校関係者評価委員会結果報告書

令和元年 7 月 19 日

学校法人上野教育学園  
上野法律ビジネス専門学校  
理事長 久保田 高永  
校長 高橋 勝徳

### 平成 30 年度学校関係者評価報告

学校法人上野法律学園上野法律ビジネス専門学校では、本校規程に基づき、学校関係者評価委員会を令和元年 7 月 16 日に開催いたしました。以下に、その内容をご報告いたします。

今後は、各評価委員よりの意見等を踏まえまして、教職員一同は更なる専門学校教育の向上及び適正な学校運営の確保に努めていく所存でございます。

引き続き、一層のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

#### 1. 学校関係者評価委員名簿

氏名	所属	役職等
土川 英司	盛岡市材木町商店街振興会青友会	会長
高木 広晃	株式会社東北銀行	夕顔瀬支店長
清水 友博	盛岡市役所	都市整備部景観政策課
吉田 里美	主婦（当校 OB）	
高橋 勝徳	上野法律ビジネス専門学校	校長
五内川幸巨	上野法律ビジネス専門学校	事務局
佐々木 茂	上野法律ビジネス専門学校	教務課
恩田 陽子	上野法律ビジネス専門学校	教務課
東海林千秋	上野法律ビジネス専門学校	教務課

#### 2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (2) 学校関係者評価委員会の趣旨・目的等の説明
- (3) 平成 30 年度自己評価等の結果報告及び質疑応答・意見提言
- (4) その他
- (5) 閉会

### 3. 内容

校長高橋勝徳より、開会挨拶と委員会の趣旨・目的等の説明を行った後、平成30年度自己評価等の結果報告を、校長高橋勝徳、事務局五内川幸巨、教務課佐々木茂より、各評価項目について行った。その後、当該報告に基づいて、関係者委員の皆様と質疑応答を行い、意見提言を受けた。

#### (1) 教育理念・教育目標

教育理念・目的・育成人材像等は各職員に周知徹底している。また、今年度は保護者へのアプローチが弱く感じており強化していく。今後も教育理念に基づく適切な教育目標を掲げて、専門学校教育に取り組んでいくことを確認した。

#### (2) 学校運営

学校運営に関しては事業計画に基づいた運営を進めている。今年度は教育活動の状況をHPにおいて情報公開していく。情報公開については評価を頂いたが、個人情報保護や学生のSNS活用には注意が必要であると意見を頂いた。

#### (3) 教育活動

昨年度は職業実習として3社においてインターンシップを実施し、企業様からも評価を頂いている。今年度も引き続き職業実践は継続していく。また、カリキュラム等は編成委員会において学校外部の委員の方から意見を頂き、より職業教育の関連を考慮したカリキュラムにしていく。東京一極集中が問題化されているが地元に残って仕事がしたくなるような地域力のような授業も考える必要があると提言を頂いた。

#### (4) 学修成果

高い就職率と検定等合格率の実績が評価できる。検定については単なる座学のみではなく、ビジュアルを活用した授業を行っている。また、卒業後も卒業生との交流が続いている点が評価できるとされた。今後も継続していくことを確認した。

#### (5) 学生支援

ボランティア活動への積極的な参加支援等が評価され地元のお祭りへの継続的な参加が評価された。保護者との連携については来年度の入学式は保護者会と同時開催を考えている。

#### (6) 教育環境

施設の老朽化が見られるものの、運営に支障をきたす程ではなく、学習設備に関

して十分な環境が整っていると評価された。今後は、バリアフリー等の整備を進めていくことを確認した。

(7) 学生募集

高校との良好なリレーションが構築されていることが評価をされた。高校生の人数が減少している中で、安定した学生数の確保に努めていくことを確認した。

(8) 財務

適正な財務管理を行っていることから、特に意見は出なかった。財務に関してもHPにおいて情報公開していく。

(9) 法令遵守

情報管理を徹底していることから、特に意見は出なかった。

(10) 社会貢献・地域貢献

地域イベントへの協力・参加や地元商店街との交流等、積極的な活動の実施に評価をいただき、今後も継続していくことを確認した。

(11) 国際交流

今後留学生の増加にともない、留学生受け入れの整備等の強化を図るとともに、日本人学生との交流授業も増やしていくことを確認した。

4. まとめ

全体を通じて、質の高い教育が実践されているとの評価をいただいた。高い就職率や検定合格率だけでなく、本校の教育理念に基づく全人格的教育に共感をいただいたと考えている。また、岩手の専門学校として地元で役立つ視点・学生の目線での視点そして国際交流の視点等を大切に、今後も地域社会や企業・団体等との連携を図りながら、変化する社会に対応できる人物の育成を行う専門学校として発展ができるように、教職員全員で協力して努めていくことを確認して閉会した。

以上